

感染症情報 8月5日～11日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①手足口病	855例(堺市	105例)
②感染性胃腸炎	494例(堺市	46例)
③溶連菌感染症	306例(堺市	43例)
④ヘルパンギーナ	151例(堺市	10例)
⑤RSウイルス感染症	140例(堺市	11例)

府下306医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 81例(堺市 8例)

報告数による順位。前週比23.6%減の2,117件であった。手足口病が府下で29%減、堺市で前週100例→今回105例であった。大阪府の定点あたりは6.08→4.34、堺市は5.26→5.53であった。感染性胃腸炎が府下で前週から16%減、堺市で前週31例→今回46例。溶連菌感染症が府下で14%減、堺市で前週61例→今回43例。ヘルパンギーナが府下で35%減、堺市で13例→10例であった。RSウイルス感染症が府下で30%減、堺市で前週24例→今回11例であった。

基幹定点だけ報告するマイコプラズマ肺炎が大阪府で70例→67例はほぼ横ばい。堺市で18例→17例であった。

インフルエンザが府下で前週139例→今回81例で42%減であった。堺市で前週17例→今回8例であった。

府下306医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症 2,329例(堺市 398例)
大阪府定点 7.61 堺市定点 13.72

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
107	212	162	229	177	177	209	236	225	285	310	2329

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前回3,924例→今回2,329例で41%の大幅減、定点あたり12.82→7.61。堺市で前週529例→今回398例は25%減、定点あたり18.24→13.72で、大阪府のブロック別で3週連続ワーストであった。

麻疹や風疹の報告なし。